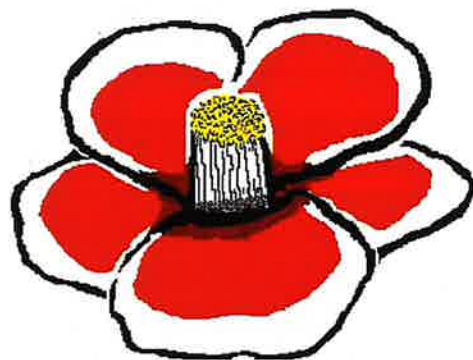


家畜衛生情報

つばき



季刊 第137号
令和3年 秋号



大瀬崎灯台とシマシャジン

目次

- P. 2…家畜伝染病発生状況（豚、鶏）
- P. 3…家畜伝染病発生状況（牛）
防疫演習
農家立入台帳への記入を
- P. 4…子牛の寒冷対策
- P. 5…病性鑑定依頼時のお願い
飼養衛生管理マニュアル
- P. 6…全共スケジュール
試験種付けへご協力を

長崎県五島家畜保健衛生所
（五島振興局農林水産部家畜衛生課）

〒853-0031

長崎県五島市吉久木町725-3

TEL (0959)72-3379

FAX (0959)72-1023

E-mail s12230@pref.nagasaki.lg.jp



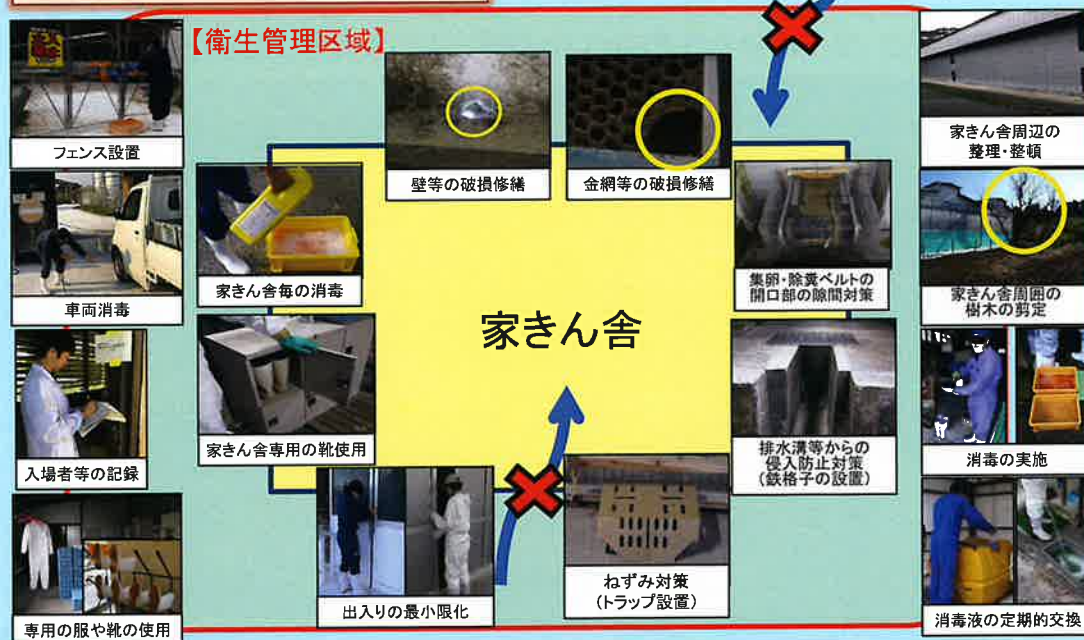
家畜伝染病発生状況(豚・鶏)

高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)

昨シーズンは、18県で52事例と発生が相次ぎ、約987万羽が殺処分されました。
今年度も海外の被害状況から「大流行」する可能性があります。

「予防対策の重要ポイント」を参考の上、人、物、車両の消毒の徹底や野生動物対策等、飼養衛生管理基準について再点検し、備えていただきますようお願いいたします。

予防対策の重要ポイント



引用:農林水産省HP

豚熱・アフリカ豚熱

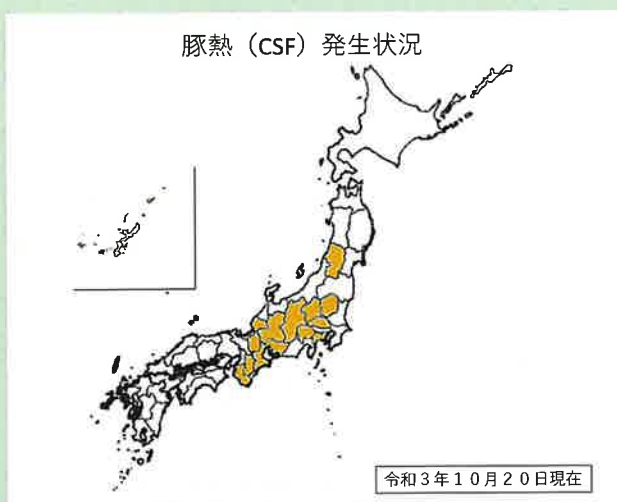
農場での発生は、15県で73件の発生が確認されています(令和3年10月20日現在)。

また、野生イノシシにおける豚熱陽性事例は、25都府県で3,926頭の陽性事例が確認されています(令和3年9月29日現在)。

発生農場における疫学調査チームの調査結果、長靴や専用衣服への交換、消毒の不備など、飼養衛生管理基準の不備が指摘されているところ です。

さらにアフリカ豚熱については、近隣諸国で未だに発生が継続しています。

ご自身の農場を守るためにも、今一度飼養衛生管理基準の再確認と遵守の徹底をお願いいたします。

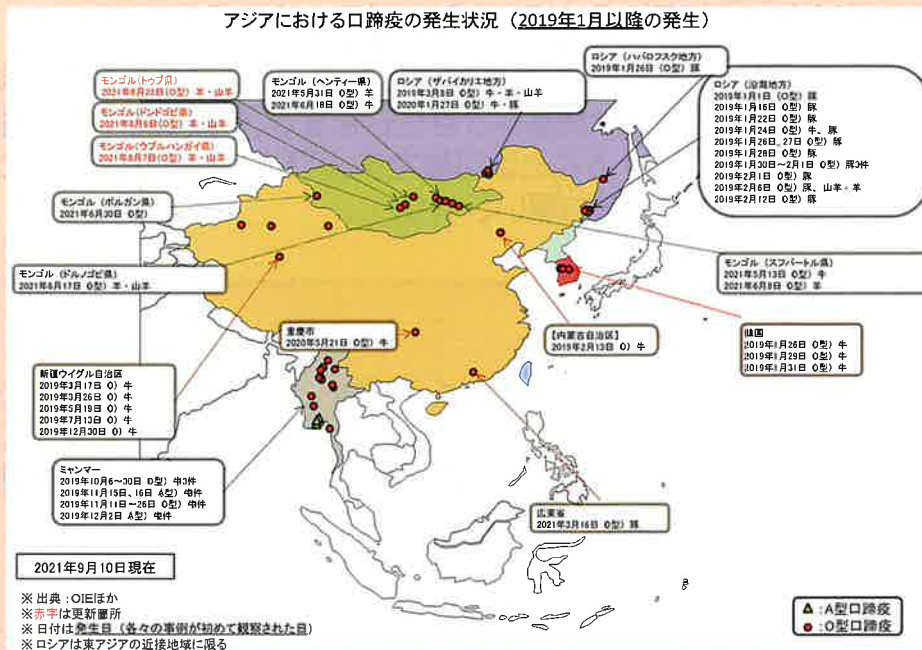


家畜伝染病発生状況(牛)

口蹄疫

令和3年5～8月に、モンゴルの複数県で牛、山羊、羊において口蹄疫が確認されています。

牛、豚、羊、山羊を飼養する皆様は、
 ①海外渡航の自粛
 ②専用衣類・長靴等の着用、若しくは消毒の徹底
 ③異常家畜の早期発見・早期通報の実施をお願いします。



引用：農林水産省HP

口蹄疫の防疫演習を実施しました

家畜伝染病発生時に円滑に防疫作業を実施できるよう、五島地域の防疫演習を実施しました。今年度は口蹄疫防疫演習として、9月2日に局内連絡体系の確認を、3日に防疫作業で必要となる備蓄資材の搬出演習を実施しました。

万一の家畜伝染病発生時に被害を最小限に抑えるため、今後も防疫演習を実施し、防疫体制の強化に努めていきます。



農場立入台帳への記入のお願い

今年度、家畜を飼養されているすべての方に対して、新たな農場立入台帳の様式を配布して、農場立入時に立入者の氏名や消毒の実施等について記録をお願いしているところです。家畜伝染病等のまん延防止対策としての趣旨をご理解いただき、記録をよろしくお願いいたします。また、台帳はクリアファイルにとじるなど、各農場において台帳が水に濡れても大丈夫なようにしていただきますようお願いします。



台帳の農場設置優良事例

本格的な冬の到来前に防寒対策を！



暑さも和らぎやっとな暑熱対策から解放されつつありますが、防寒対策の準備を始めてください。特に、子牛は寒さによるストレスで免疫力が低下し疾病にかかりやすくなります。

冬場にだけ真菌症が出る、下痢が酷くなる…等心当たりはありませんか？どのような季節でも環境中には様々な病原体が存在しますが、栄養管理や環境整備を適切に行うことで家畜の生産性を向上することは可能です。以下に防寒対策のポイントを示しましたので、農場の自己点検と改善をお願いします。

■すき間風を防ぐ

強い北風が牛舎に吹き込んでくる場所については、風の向きを考慮したコンパネやカーテン等を利用した壁を作り、直接牛体に当たらないようにしましょう。特に、寒さに弱い新生子牛については風が入り込まない個室の確保をお願いします。

■保温

カーフジャケットやヒーターを用いて体温の低下を防ぎましょう。

■牛床を冷やさない

敷料はオガクズやワラ等を厚くし、牛体がふん尿で汚れ、体温が低下しないよう、清潔・乾燥した状態に保ちましょう。

■換気

防風対策のために牛舎を締めきったままでも、ホコリやふん尿によるアンモニアガスで呼吸器病が発生しやすくなります。朝・晩の餌やり、見回り時等、時間を決めて定期的な換気をしましょう。

■消毒

清掃後の消毒について、寒さで消毒薬の効果が低くなるため、有効濃度内で濃度を上げる、温水で消毒薬を希釈して使用しましょう。



北風が直接吹き込まないよう
コンパネを設置した例



ロール乾草で子牛の個室を作成
ヒーターの設置、ジャケットを着用した例

飼養者の皆様へ：病性鑑定依頼時の注意点

家保が実施する病性鑑定は、農場での疾病等の原因を究明し、その後の対策に資することを目的としており、解剖、血液検査、糞便検査など多種多様にわたります。原因究明のため、検査前の詳細な聞き取りが必要となります。飼養者の皆様には以下の内容について質問することがありますので、回答できるよう準備をお願いします。

また、検査材料について確保をお願いすることがあります(例：牛の異常産発生時には死亡胎子、胎盤、母牛の血清が必要)。

✓ 当該畜の症状について

- ・いつから、どのような症状が認められたか
- ・発熱・発咳・鼻汁の有無、便の性状
- ・治療歴(ワクチン接種歴も含む)

✓ 同居畜の状態について

- ・当該畜と同様の症状が認められるか
→認められる場合は、いつからなのか

✓ 餌について

- ・種類および給与量
- ・食べ残しの有無

✓ 衛生管理

- ・畜舎の清掃・消毒の頻度
- ・消毒薬の種類

✓ その他

- ・県外導入の有無、畜舎移動の有無
- ・過去同様の疾病が、当該農場で発生しているか
- ・授精状況、分娩状況

など。



飼養衛生管理マニュアル作成について

令和2年6月30日に改正された飼養衛生管理基準には「飼養衛生管理マニュアルの作成及び従事者等への周知徹底」が定められており、令和4年2月1日から施行されます。マニュアルの雛形は家畜保健衛生所で提供しますが、畜産農家の皆様には自農場の現状に合わせて、飼養衛生管理者の情報等を記入していただきます。

① 農場名、氏名

例：五島農場 飼養衛生管理者 五島 太郎

② 手指・長靴・衣類・車両・物品・施設を消毒する際に用いる消毒薬名およびその濃度・散布量

例：手指消毒 消毒用アルコール(原液)

③ 特定症状が確認された場合の緊急連絡網

例：飼養衛生管理者名および電話番号、管理獣医師名および電話番号

④ マニュアル作成時の年月日



全国和牛能力共進会鹿児島大会に向けた取組みについて

来年10月に開催される全共鹿児島大会に向けた今後の取組み予定です。

種牛の部では、第2区(若雌の1)及び第3区(若雌の2)の分娩期間が終了しており、今後、出品候補牛のリストアップ、絞込みが行われることとなります。第4区(繁殖雌牛群)、第5区(高等登録群)、第6区(総合評価群)については、改良組合や育種組合等別に出品候補牛の選定が行われます。いずれの出品区分においても令和4年5月までに地域代表牛を決定し、令和4年8月までに行われる県選考会にて県代表牛が決定する予定となっております。

肉牛の部では、第6区(総合評価群)、第7区(脂肪の質評価群)、第8区(去勢肥育群)の出品候補牛60頭の肥育農家への引渡しが行われました。今年度の4月27日に行われました。今後は令和4年7月下旬に代表牛7頭が決定する予定です。五島からも4頭の出品候補牛が肥育農家へ引き渡されており、今後の活躍が期待されます。

本大会で好成績を収めて長崎和牛のブランド力を向上させるため、頑張っていきたいと思います。

～第12回全国和牛能力共進会・主な出品条件・スケジュール～

(種牛の部)

| 出品区分 (出品月齢) | 出品牛の父 (交配種雄牛) | 生後月齢 | 出品予定 頭数 | 出品者 | 生年月日 | スケジュール(予定) | |
|-------------------|--------------------------|--------------------|------------|-------|-------------------|------------|-----------|
| | | | | | | R4.5 | 未定 |
| 第1区(若雄) | 県有種雄牛 | 生後15～23か月未満 | 1(単) | 個人 | R2.11.7～R3.7.6 | 地域代表 決定 | 県代表 決定 |
| 第2区(若雌の1) | 勝乃幸以降の 県有種雄牛 | 生後14～17か月未満 | 1(単) | 個人 | R3.5.7～R3.8.6 | | |
| 第3区(若雌の2) | 勝乃幸以降の 県有種雄牛 | 生後17～20か月未満 | 1(単) | 個人 | R3.2.7～R3.5.6 | | |
| 第4区(繁殖雌牛群) | 平茂晴を除く 県有種雄牛 | 3産以上 | 3(群) | 改良組合等 | | | |
| 第5区(高等登録群) | (孫娘牛) 勝乃幸以降の 県有種雄牛 | 14か月以上 (母、娘、孫娘) | 3(群) | 改良組合等 | (孫娘牛) R3.8.6以前 | | |
| 第6区(総合評価群) 種牛群 | 弁慶3 | 17～24か月未満 | 4(群) | 改良組合等 | R2.10.7～R3.5.6 | | |

(肉牛の部)

| 出品区分 (出品月齢) | 出品牛の父 (交配種雄牛) | 生後月齢 | 出品予定 頭数 | 出品者 | 生年月日 | スケジュール(予定) | | |
|-------------------|------------------|--------|------------|-----|----------|----------------------|--------------------|-------------------|
| | | | | | | R3.5 | R4.4 | R4.8 |
| 第6区(総合評価群) 肉牛群 | 弁慶3 | 24か月未満 | 3(群) | 個人 | R2.10.7～ | 肥育農家 引渡し (60頭) | 中間 絞込み (25頭) | 県代表 決定 (7頭) |
| 第7区(脂肪の質評価群) | 勝乃幸 | 24か月未満 | 3(群) | 個人 | R2.10.7～ | | | |
| 第8区(去勢肥育牛) | 百合幸 | 24か月未満 | 1(単) | 個人 | R2.10.7～ | | | |

現場後代検定取得交配(試験種付け)にご協力をお願いします。

本県では優秀な種雄牛造成のため、毎年、標記取組を行っており、本取組により勝乃幸や金太郎3など本県を代表する種雄牛が誕生しています。

今年度の五島地区は「姫晴久」号と「玉石」号の2頭の種雄牛候補牛が割り当てられており、今後、「玉石」号の試験種付けを予定しています。「姫晴久」号は9月30日で交配期間を終了しています。交配期間は11月15日～12月30日です。皆様のご協力をお願いします。

なお、試験種付けを実施していただいた際には協礼金が支給されますが、そのためには授精証明書の提出が必要です。また、余った精液は必ず畜産事業所にお返しください。

「玉石」号のプロフィール
 生年月日：平成31年2月7日
 生産地：北松浦郡小値賀町
 血統：勝乃幸 - 勝忠平 - 安福久

